

速報!

3月31日に日本陸上競技連盟より、陸上世界競技選手(韓国・大邱テグ)のマラソン男子代表が発表され、当社陸上部中本健太郎選手が選出されました!

男子マラソンの日程は9月4日(日)です。応援をお願いいたします。

早春のロードシーズンでは、選手個々の目標や実力により、10マイル(16.093km)からマラソンに出場しましたが、今年は特にマラソンに力を入れました。

まず、黒木文太選手が駅伝シーズンの好調をそのままに初マラソンに挑戦しました。大会前から優勝候補の一人として注目されての出場でした。レースは30km付近まで集団で進みましたが、その後積極的にペースを上げて他の選手をふるい落としにかかりました。流石に初マラソンであったため35km以降で遅れをとり結果的に7位となりましたが、そのレース内容は解説者からも評価されました。

続いてびわ湖毎日マラソンには、一般参加で小畑昌之、飛松誠、岡田徹選手の3名が出場しました。マラソン2回目の小畑選手、初マラソンの飛松選手、3回目の岡田選手はそれぞれに目標タイムを設定し、自分のペースでレースを進め無事に完走しました。最も活躍したのは招待選手として6回目のマラソンを迎えた中本選手でした。

これまでの経験とニューイヤー駅伝でも見せた粘りを発揮し、30kmまで先頭集団でレースを進めました。その後、一旦遅れをとりましたが、順位を上げて日本人トップ争いを最後の最後まで演じきりました。結果的には日本人2位の総合4位。2時間9分31秒という、安川電機陸上部にとって待望の「サブテン*」を達成しました。この走りは、当社陸上部ならびに多くの社員に「やればできる」という勇気を与えてくれました。これでチーム全体に「世界を目指せる」という勢いがついたと思います。

今春も箱根駅伝出場メンバーが新人として加入し、総合力を充実させて参ります。今後も変わらぬ応援をよろしくお願いします。

* 2時間10分以内でフルマラソンを走ること。これは日本人のマラソン選手が世界の檜舞台に出場するための目安となるタイムです。この記録を持つ選手をサブテンランナーと呼びます。



マラソンで安川電機陸上部にサブテンの記録をもたらした中本選手



びわ湖毎日マラソン 22km付近の中本選手

◆2011年2月～2011年3月の主な戦績

日程	大会名	実績
2月 6日	丸亀国際ハーフマラソン	中野選手10位
2月13日	延岡西日本マラソン	黒木選手7位
2月13日	唐津10マイルロードレース	後藤選手、久保田選手、山園選手が自己新
2月27日	祐徳ハーフマラソン	後藤選手7位
3月 6日	びわ湖毎日マラソン	中本選手サブテンを達成。小畑選手自己新
3月 6日	玉名ハーフマラソン	後藤選手10位、山園選手、小崎選手自己新

選手の声：

びわ湖マラソンでは、沿道で安川電機関係者を始め、多くの方々の声援を力にして走ることができました。あらためて安川電機応援団は日本一だと思いました! また、何より嬉しいのは今回の結果で世界陸上マラソン日本代表に選ばれたことです。これは今までサポートしていただいたすべての方々のおかげだと感謝します。これからが大変になると思いますが、いつもの通りに練習に精進していきたいと思っております。暖かいご声援をよろしくお願いいたします。

中本 健太郎